

理想ではなく現場のリアルな薬剤師の活動に薬学生が注目

城西大学薬学部×JACDS「DgS就業体験プログラム」

城西大学薬学部が日本
チェーンドラッグストア
協会（JACDS）との
連携で実施しているDg
Sの就業体験プログラム
「コミュニケーションファ
マシーニターニシッ
プ」（CPI）が今夏も
実施され、今年度は19人
の薬学生が首都圏のJA

CDS加盟DgS7社・
11店舗で補助的業務に勤
しんだ。
CPIは2009年か
ら4年生の選択科目とし
て単位化されており、参
加学生は夏休み期間中の
5日間に10時から8時
間、業務内容の見学と就
業体験に取組み、店頭に

立つための身だしなみや
挨拶から、陳列・清掃な
どを含む業務全般（調剤
業務については見学の
み）の指導を受ける。

関係者による視察先の

ドラッグストアセキ新河
岸店（埼玉県川越市）に
配属されていた岩河凛久
さんは、「自分で色々と
動かないとインターンシ
ップには入りにくいです
が、大学と協会が協力し
て取り組んでいると聞
き、これはもうやるしか
ないと思いました」と前
向きな動機を語り、薬剤
師は調剤業務が中心と思
ってしまいがちなため、
「特にセルフメディケー
ションに対する薬剤師と
してのアプローチの仕方
が現状どうなっているの
か、こういう風にしたい
という理想ではなく現場
の状況を把握したいで

す」と明確な目的を説明
した。

もう1人の参加学生の

高松珠衣さんは他のDg

Sで現在バイト中とい

い、「その店舗では薬剤

師が居ないため、居る店

舗との違いを発見した

です。売場では薬から日

用品のことまで質問さ

れ、幅広い知識がなけれ

ば難しいので、薬剤師さ

んがどのように対応して

いるのか気になります」

と説明。調剤対応を主と

する薬局とは異なり、D

gSは日常生活での接点

が多い印象があることが

ら、「健康な人への対応

や、ちょっとした相談で

ともできる環境で地域の

方に接することは、（薬

剤師としても）すぐや

りがいがあるのではない

かと思っています」と、

今のところ将来の進路と

して魅力を感じていると



あったりする
ので、そ
うしたこと
にも気づけ
て守ってあ
げられる立
場になれる
のではない
かと思いま
す」（岩河
さん）、「勤
務してい
る」店長な
どは拳動を
観察し、目
が合わか
ったりする
の意識し

また、若者の市販薬オ
ーバードーズ問題を背景
に指定濫用防止医薬品制
度が開始され、専門家に
よる販売時の関与が強化
されている状況について
尋ねると、「薬を購入す
る目的を聞いて提案する
なかで、違和感に気づく
ことができないと思いま
す。ODをしている子供
たちは家庭に問題を抱え
ていたり、精神的に何か

学生の印象について指
導薬剤師を務めた森本早
貴氏は、「2人とも本当
にしっかりしていて、将
来現場に出てきてくれれ
ば頼りになると感じる。
そもそも4年生のこの早
い時期に参加してくれる
というところで、現場に出
る準備や意欲的な学習姿
勢にあるので力になって
あげたい」とコメント。
自社での就業体験を視察
したJACDS勤務薬剤
師委員会の関颯伎委員長
は、「DgSはどこまで
地域で活躍できるのかと
いう視点で、薬剤師は薬
を出すだけでなく、幅広
いことに対応することで
地域を支えたいという志
をもった学生がかなり増
えている」と将来の人材
に期待を寄せた。



薬剤師

フィールドリサーチ

「くすりや」の「現場」田村かおり

研修はWEBで充分か？

先日、SNSで「勉強するだけだったら、家でAI使
って論文検索して読み込めば十分」「質問もしない
のに、なぜ実地の研修に参加するのか」といったやり
とりを見ました。

このやり取りをされている方々は男性と思われる
ので、想像がつかなかったのだろうとは思います。
薬剤師も登録販売者も事務スタッフも含め、薬局や
ドラッグストアで働く人は女性が多く、子育て中の
人も多くいて、家では一人の時間をとるのが難しい
のです。

家族と一緒にだと家族のペースで暮らすことになる
ので、家でじっくり論文に集中する時間はとれませ
ん。短時間なら外に出られる恵まれた人の場合、外
で学習することで家族に邪魔されずに学習すること
ができます。家でスマートフォンを触ると、子ども
が「母は遊んでいる」と勘違いして一悶着が起こる
かもしれません。それゆえ、家ではスマートフォン
を使わないようにしているかもしれません。

先のようなやり取りをしている人たちは、それだ
けの母親としての苦勞が背景にある可能性に想像が
及びません。病気や薬だけではなく「生活も見よ」
と言われているのを忘れてしまっているのではない
でしょうか。

話は変わりますが、「ネットでいろいろなものに
触れられる時代に、実際対面して行うイベントに意
味があるのか」と批判を受けながらも、去年の大阪
での万博は成功し、人と人が直接触れあうことでの
様々な可能性を見せてくれましたね。実地の研修や
交流からも、人の情熱から新しい何かが生まれるこ
とを改めて感じさせてくれました。